洪水リスクマップ【想定最大規模】（江の川水系）

1．説明文

（1）このマップは広島県内の河川の国管理区間及び県管理区間について想定し得る最大規模の降雨（1年間に発生する確率が1/1,000（0.1%）以下の降雨）による洪水浸水想定区域，浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）このマップは，公表時点の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して，想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により対象区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）また，このマップは，洪水により河川の溢水，堤防の越水・決壊が考えられる各地点において，河川が氾濫した場合に想定される浸水範囲を重ねて表示したもので，想定される最大のリスクを示しており，特定の洪水が発生した場合に想定される浸水範囲を示したものではありません。

（4）各シミュレーションの実施にあたっては，洪水予報区間及び水位周知区間以外の対象区間の決壊による氾濫範囲の拡大，対象区間以外からの氾濫，シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨，高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので，このマップに示されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）作成主体　　広島県土木建築局河川課

（2）公表年月日　　令和３年９月２２日

（3）対象となる河川　広島県内の国管理河川及び県管理河川（実施区間）図示

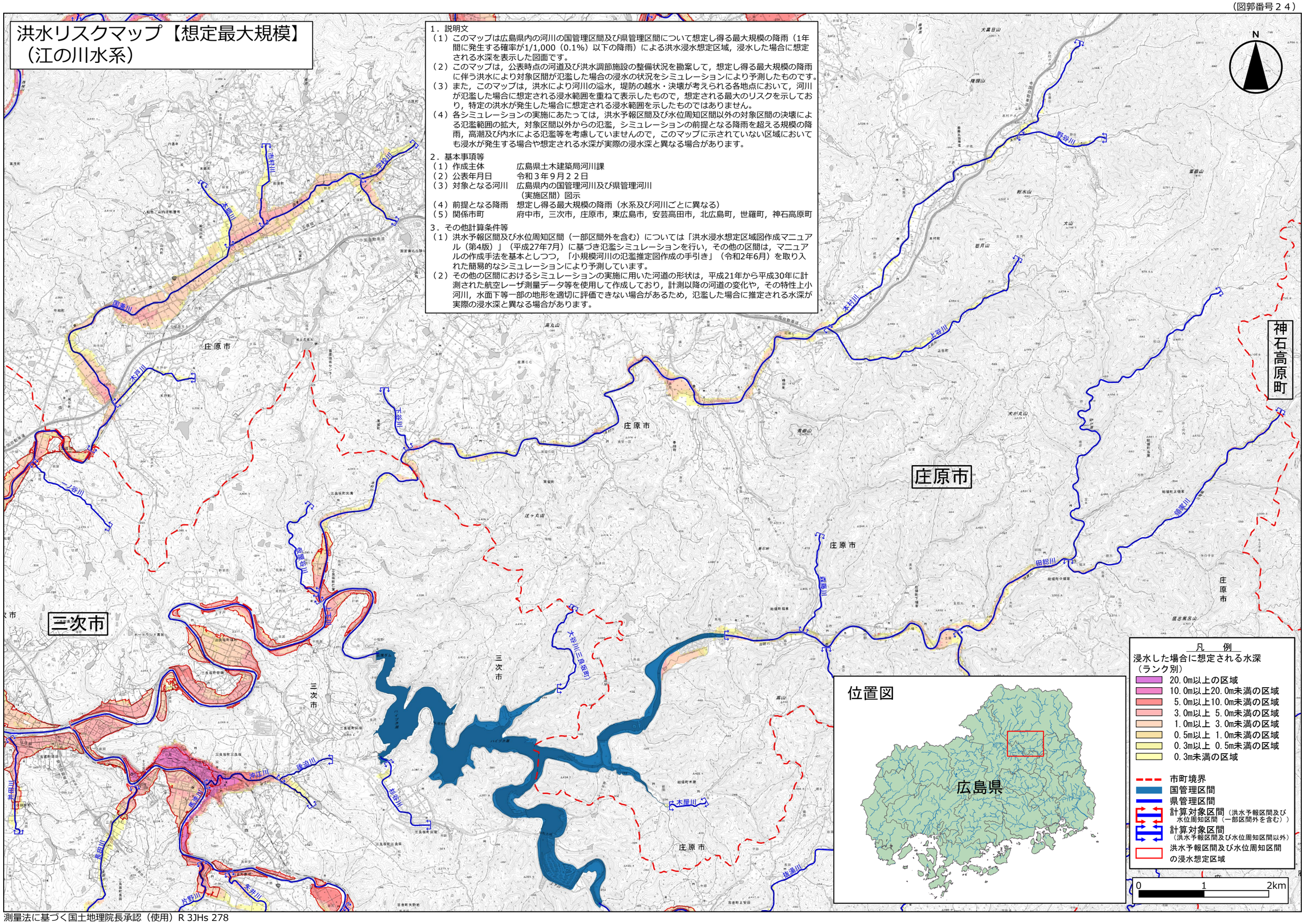
（4）前提となる降雨　想定し得る最大規模の降雨（水系及び河川ごとに異なる）

（5）関係市町　　府中市，三次市，庄原市，東広島市，安芸高田市，北広島町，世羅町，神石高原町

3．その他計算条件等

（1）洪水予報区間及び水位周知区間（一部区間外を含む）については「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」（平成27年7月）に基づき氾濫シミュレーションを行い，その他の区間は，マニュアルの作成手法を基本としつつ，「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和2年6月）を取り入れた簡易的なシミュレーションにより予測しています。

（2）その他の区間におけるシミュレーションの実施に用いた河道の形状は，平成21年から平成30年に計測された航空レーザ測量データ等を使用して作成しており，計測以降の河道の変化や，その特性上小河川，水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため，氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 278